

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハウスゆうゆう		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導理念である「河添理論」に基づき、33年間一貫して発達に遅れのある幼児の障害の軽減に取り組んできた。 ●生活リズムの確立 ●この運動遊びを通しての筋力の強化等々	●午前9時～9時30分の30分間、この運動を中心に全身を使った活動をする。 ●1時間の午前午睡。	●職員が「笑顔で」指導に取り組める様、良好な人間関係に努める。
2	●定員10人に対して広い芝生の園庭・様々な遊具・アニマルセラピーを自前でできる動物(ポニー・山羊・豚・猫)を飼育している戸外の環境。	●動物たちのエサやり、乗馬等、動物たちに直接ふれあいう機会を多く持つようにしている。	●鶏やウサギなど小動物の種類を増やす。
3	●お泊り保育・保護者会活動・個人面談など保護者支援が充実している。	●お泊り保育時における夜の保護者同士の交流の時間。	●先輩にあたる卒園児保護者の子育ての体験談を聞く機会を設ける

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●1法人1か所の独立した小規模の事業所であるため、その地域で他の子どもと交流を持つことが少ない。	●通園している子どもの特性。	●地域の子どもたちに園庭を開放し、本事業所についてよく知ってもらう。
2			
3			